



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社木曽路

上場取引所 東名

コード番号 8160 URL <https://www.kisoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 豊稔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 戸谷 明宏

TEL 052-872-1811

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	20,042	35.0	1,697		1,677		1,635	
2022年3月期第2四半期	14,845		3,307		252		170	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,600百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 156百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	58.65	
2022年3月期第2四半期	6.67	

(注) 1. 2021年3月期末より連結財務諸表を作成しておりますので、2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2022年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	47,265	26,946	57.0
2022年3月期	47,898	26,601	55.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 26,946百万円 2022年3月期 26,573百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		8.00		8.00	16.00
2023年3月期		8.00			
2023年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,400	34.3	650		620	65.9	150	77.0	5.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	28,543,889 株	2022年3月期	27,413,889 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	381,984 株	2022年3月期	381,656 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	27,883,206 株	2022年3月期2Q	25,535,526 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への取組みや3度目のワクチン接種が進んだことや本年3月にまん延防止等重点措置が解除され、人流も増加し個人消費の回復が景気を持ち直しつつあります。しかしながら、サプライチェーンの混乱、円安、ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格高騰など物価を押し上げる要因が重なり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、3年ぶりに営業制限のないゴールデンウィークを迎えることができたものの、消費者のライフスタイルの変化、原材料・原油価格の高騰による仕入価格や水道光熱費、物流費の上昇等、取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、個人衛生チェックの徹底、アルコール消毒液の店内設置、客席のパーティション設置など、感染予防対策を引き続き実施し、ご来店頂けるお客様に安心してお食事を楽しんでいただけるよう努めております。

営業面においては、テイクアウト商品の販売に努めるとともに、季節ごとのフェアの告知などを実施しました。また、店舗教育の推進により営業力を強化してまいりました。更にコア商品の徹底したブラッシュアップと新メニューの導入を行いました。

費用面においては、客数予想をもとにしたシフト管理の徹底等により人件費を抑えると共に、新規仕入先との取引を積極的に推進し原価低減を図る等、経費削減に努めました。

店舗展開、改築・改装につきましては、2店舗の出店、11店舗の改装（3店舗は現在改装中）、4店舗の退店を実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は192店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は200億42百万円（前年同期比 35.0%増加）、営業損益は16億97百万円の損失（前年同期実績 33億7百万円の損失）、経常損益は16億77百万円の損失（同 2億52百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は16億35百万円の損失（同 1億70百万円の損失）となりました。

なお、働き方改革の一環として株式会社木曾路において、5月9日、10日の2日間、全店一斉休業を実施しました。今後も働き易い魅力ある企業作りにも努めてまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前連結会計年度 (2022年3月31日現在)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日現在)	増 減
総資産（百万円）	47,898	47,265	△632
純資産（百万円）	26,601	26,946	345
自己資本比率（%）	55.5	57.0	—
1株当たり純資産（円）	983.02	956.86	△26.16

当第2四半期連結会計期間末の総資産は472億65百万円（前連結会計年度末比6億32百万円の減少）となりました。この主な内訳は、流動資産が210億65百万円、有形固定資産が155億76百万円、無形固定資産が28億19百万円、投資その他の資産が78億4百万円であります。前連結会計年度末からの主な減少要因は、流動資産の現金及び預金が7億34百万円の減少となったことによるものであります。一方、負債合計は203億18百万円（前連結会計年度末比9億77百万円の減少）となりました。この主な内訳は、流動負債が151億58百万円、固定負債が51億60百万円であります。前連結会計年度末からの主な減少要因は、未払法人税等が3億52百万円の減少となったことによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は269億46百万円（前連結会計年度末比3億45百万円の増加）となりました。この主な内訳は、資本金が126億48百万円、資本剰余金が124億67百万円、利益剰余金が26億69百万円であります。前連結会計年度末からの主な増加要因は、資本金、資本剰余金等の増加によるものであります。

**(部門別売上高)**

部門	事業内容	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同期比 増減率
木曾路部門	しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」	11,690百万円	15,486百万円	32.5%
焼肉部門	特選和牛の「大將軍」 国産牛焼肉の「くいどん」 焼肉の「じゃんじゃん亭」	2,537	3,864	52.3%
その他部門	居酒屋	236	342	45.0%
	和食 しゃぶしゃぶの「鈴のれん」	207	283	36.8%
	その他	175	156	△10.7%

**木曾路部門**

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」業態は、2店舗の出店、3店舗の改装（1店舗は現在改装中）により、当第2四半期連結会計年度末店舗数は124店舗であります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、店内飲食での法人の宴会需要や予約獲得状況は回復しておらず厳しい状況が続いております。

このような環境の中で新規顧客の獲得、来店動機づくりにTVCMを実施するとともに、引き続き、お持ち帰りお弁当販売やご自宅でお楽しみいただける「しゃぶしゃぶセット」等の販売で客数増に努めました。

その結果、売上高154億86百万円（前年同期比 32.5%増加）となりました。

**焼肉部門**

特選和牛の「大將軍」、国産牛焼肉の「くいどん」及び焼肉の「じゃんじゃん亭」は、3店舗の退店、4店舗の改装により、当第2四半期連結会計年度末店舗数は52店舗であります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けたことや店舗の退店を実施し、厳しい営業となりましたが、営業時間が通常に戻ったこと等により、売上高は38億64百万円（同 52.3%増加）となりました。

**その他部門**

居酒屋（とりかく、大穴）業態は、1店舗の退店により当第2四半期連結会計年度末店舗数は7店舗であります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、営業時間が通常に戻ったこと等により、売上高は3億42百万円（同 45.0%増加）となりました。

和食 しゃぶしゃぶの「鈴のれん」業態は、店舗の異動はなく、当第2四半期連結会計年度末店舗数は5店舗であります。営業時間が通常に戻ったこと等により、売上高は2億83百万円（同 36.8%増加）となりました。

その他業態は、からあげ専門店の「からしげ」、外販（しぐれ煮、胡麻だれ類）、不動産賃貸等であります。売上高は1億56百万円（同 10.7%減少）となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

業績予想につきましては、2022年11月9日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,617	16,882
売掛金	1,437	1,298
商品及び製品	38	84
原材料及び貯蔵品	1,848	2,167
その他	1,781	633
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	22,721	21,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,473	7,240
土地	6,198	6,198
その他（純額）	1,848	2,137
有形固定資産合計	14,520	15,576
無形固定資産		
のれん	1,916	1,828
その他	1,045	990
無形固定資産合計	2,961	2,819
投資その他の資産		
差入保証金	4,363	4,229
その他	3,359	3,603
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	7,693	7,804
固定資産合計	25,176	26,199
資産合計	47,898	47,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,203	1,162
短期借入金	4,500	4,500
1年内返済予定の長期借入金	490	5,290
未払法人税等	560	208
資産除去債務	89	30
賞与引当金	519	593
その他	3,628	3,373
流動負債合計	10,993	15,158
固定負債		
長期借入金	6,891	1,845
退職給付に係る負債	948	947
資産除去債務	1,296	1,298
その他	1,167	1,069
固定負債合計	10,303	5,160
負債合計	21,296	20,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,553	12,648
資本剰余金	11,371	12,467
利益剰余金	4,520	2,669
自己株式	△931	△931
株主資本合計	26,515	26,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	80
退職給付に係る調整累計額	13	12
その他の包括利益累計額合計	58	93
新株予約権	28	—
純資産合計	26,601	26,946
負債純資産合計	47,898	47,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	14,845	20,042
売上原価	5,404	6,557
売上総利益	9,440	13,485
販売費及び一般管理費	12,748	15,182
営業損失(△)	△3,307	△1,697
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	11	20
助成金収入	3,048	27
その他	29	26
営業外収益合計	3,100	86
営業外費用		
支払利息	39	21
賃貸借契約解約損	0	29
その他	6	15
営業外費用合計	45	66
経常損失(△)	△252	△1,677
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	16	—
特別利益合計	16	1
特別損失		
固定資産除却損	27	93
特別損失合計	27	93
税金等調整前四半期純損失(△)	△263	△1,769
法人税、住民税及び事業税	60	76
法人税等調整額	△154	△210
法人税等合計	△93	△134
四半期純損失(△)	△170	△1,635
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170	△1,635



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△170	△1,635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	36
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	14	35
四半期包括利益	△156	△1,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△156	△1,600
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△263	△1,769
減価償却費	655	693
のれん償却額	87	87
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	73
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△23	△32
助成金収入	△3,048	△27
支払利息	39	21
賃貸借契約解約損	0	29
固定資産売却損益(△は益)	△0	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	△16	—
固定資産除却損	27	93
売上債権の増減額(△は増加)	339	139
棚卸資産の増減額(△は増加)	△223	△365
その他の流動資産の増減額(△は増加)	326	△56
仕入債務の増減額(△は減少)	△222	△41
その他の流動負債の増減額(△は減少)	285	△424
長期未払金の増減額(△は減少)	△40	△26
その他	25	△5
小計	△2,080	△1,613
利息及び配当金の受取額	25	33
利息の支払額	△40	△21
助成金の受取額	1,682	1,248
賃貸借契約解約による支払額	△16	△34
法人税等の支払額	△51	△377
法人税等の還付額	263	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△217	△764
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△491	△1,493
無形固定資産の取得による支出	△94	△13
投資有価証券の売却による収入	116	—
差入保証金の差入による支出	△58	△88
差入保証金の回収による収入	119	209
資産除去債務の履行による支出	△89	△77
その他	△8	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△505	△1,510
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	11,300	4,000
短期借入金の返済による支出	△11,300	△4,000
長期借入れによる収入	2,144	—
長期借入金の返済による支出	△2,321	△245
リース債務の返済による支出	△159	△154
新株予約権の行使による株式の発行による収入	224	2,176
新株予約権の発行による収入	47	—
新株予約権の買入消却による支出	—	△18
配当金の支払額	△382	△216
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△447	1,540
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,169	△734
現金及び現金同等物の期首残高	16,002	17,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,833	16,882

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。